



## 2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年8月9日

上場会社名 株式会社 山大  
コード番号 7426 URL <http://www.yamadai.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 暢介

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 阿部 竜也

TEL 0225-93-1111

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,089	3.9	21		16		21	
2023年3月期第1四半期	1,047	14.3	26		30		20	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	19.24	
2023年3月期第1四半期	18.90	

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	6,210		3,748		60.3	
2023年3月期	6,375		3,801		59.6	

(参考)自己資本 2024年3月期第1四半期 3,748百万円 2023年3月期 3,801百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		30.00	30.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		0.00		30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,512	6.6	24		19		23		20.74
通期	5,263	4.1	13	91.6	28	84.3	4	95.9	3.78

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	1,187,368 株	2023年3月期	1,187,368 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	76,529 株	2023年3月期	76,529 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	1,110,839 株	2023年3月期1Q	1,110,846 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による経済社会活動への制約緩和が進む中、ウクライナ情勢による資源価格の高騰等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

住宅建築業界におきましては、物価の高騰等により新設住宅着工戸数は軟調に推移しております。また、ウクライナ情勢の長期化等による資源価格等の高騰等により、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもとで、改正木材利用促進法（脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律）が2021年10月1日に施行され、対象が民間建築物や中高層建築物を含む「建築物一般」に拡大されたこと、更に地球上で唯一の循環資源である木材を生かして「持続可能な開発目標 SDGs」の実現に貢献していくことを宣言いたしました。私たちは、Community with wood～200年先の笑顔のために～、非住宅建築の木造化を推進し、地産地消の認証木材使用による森林保護や高性能住宅により二酸化炭素の排出量を抑制し、地球温暖化防止へ貢献してまいります。

住宅資材事業では、プレカット受注を営業戦略の柱として、建材・住設・エクステリア等のトータル受注を目指してまいりました。また、製材工場ウッド・ミルのブランドであります国産人工乾燥杉製材品「宮城の伊達な杉」の更なる普及や、2019年1月に選出された「第7回富県宮城グランプリ」を糧に宮城県内産業の発展や地域経済の活性化に努力してまいりました。

建設事業では、宮城の伊達な杉を使用することで木の本来の性質であります優しい質感と香り、調湿効果に優れ、ある程度の太さがあれば火にも強く耐久性があり、「優しさ」と「強さ」を兼ね備えた「宮城の伊達な杉の家」CORE（コア）等と、選ばれた自然素材を採用し心身の健康を配慮した設計ノウハウと健康素材で、構成される住まいの提案と住宅の高断熱化と高効率設備により、快適な室内環境と大幅な省エネルギーを同時に実現した上で、太陽光発電等によってエネルギーを創り年間に消費するエネルギー量が概ねゼロとなる、ZEH住宅等を拡販してまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は、1,089百万円（前年同期比3.9%増）となりました。営業損失は21百万円（前年同期営業利益26百万円）、経常損失は16百万円（前年同期経常利益30百万円）、四半期純損失は21百万円（前年同期四半期純利益20百万円）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。（各セグメントの売上高は、外部顧客に対するものであります。）

#### ア. 住宅資材事業

大型木造物件と地域に根ざした営業展開を図るため地場工務店に対する営業活動に注力しましたが、原油等の資源価格の高騰や仕入資材等の価格の高騰により工場の製造原価率が上昇したこと等により、売上高832百万円（前年同期比6.4%減）、営業利益53百万円（前年同期比37.5%減）となりました。

#### イ. 建設事業

注文住宅等の競争が厳しく、売上高246百万円（前年同期比66.9%増）、営業損失15百万円（前年同期営業損失15百万円）となりました。

#### ウ. 賃貸事業

賃貸収入は、売上高9百万円（前年同期比8.8%減）、営業利益7百万円（前年同期比7.6%減）となりました。

### (2) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月4日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現在のところ変更ありません。

なお、当該業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて行ったものであります。今後、経営環境の変化等により、当社の業績に影響を及ぼす可能性が生じた場合は、適切に開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,627,672	1,711,695
受取手形及び売掛金	735,031	625,209
完成工事未収入金等	150,356	16,114
商品及び製品	307,461	299,828
仕掛品	217,259	221,193
原材料及び貯蔵品	91,876	85,050
販売用土地建物	357,651	357,811
未成工事支出金	1,220	25,817
その他の流動資産	23,155	17,934
貸倒引当金	△2,661	△2,318
流動資産合計	3,509,024	3,358,338
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	677,718	662,141
機械装置及び運搬具 (純額)	86,071	74,235
土地	1,757,506	1,774,024
その他の有形固定資産 (純額)	255,115	253,445
有形固定資産合計	2,776,412	2,763,846
無形固定資産	11,449	11,920
投資その他の資産	78,719	76,726
固定資産合計	2,866,581	2,852,492
資産合計	6,375,605	6,210,831

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	853,071	753,755
工事未払金	51,222	100,793
短期借入金	195,000	195,000
1年内返済予定の長期借入金	149,586	147,715
未払法人税等	34,855	2,797
賞与引当金	14,800	27,800
完成工事補償引当金	5,920	4,180
その他の流動負債	288,442	295,361
流動負債合計	1,592,899	1,527,402
固定負債		
長期借入金	659,780	624,252
退職給付引当金	188,677	179,840
その他の固定負債	133,130	131,321
固定負債合計	981,588	935,414
負債合計	2,574,487	2,462,816
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,103,184	1,103,184
資本剰余金	97,927	97,927
利益剰余金	2,606,277	2,551,582
自己株式	△54,312	△54,312
株主資本合計	3,753,075	3,698,380
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,648	3,240
土地再評価差額金	46,394	46,394
評価・換算差額等合計	48,042	49,634
純資産合計	3,801,118	3,748,014
負債純資産合計	6,375,605	6,210,831

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,047,928	1,089,039
売上原価	858,384	923,878
売上総利益	189,543	165,161
販売費及び一般管理費	163,498	186,749
営業利益又は営業損失 (△)	26,045	△21,587
営業外収益		
受取利息	3	67
受取配当金	1,285	1,441
受取助成金	1,428	1,185
仕入割引	1,451	1,462
その他	2,826	2,386
営業外収益合計	6,995	6,543
営業外費用		
支払利息	1,787	1,674
その他	309	8
営業外費用合計	2,096	1,682
経常利益又は経常損失 (△)	30,943	△16,726
特別損失		
役員退職慰労金	-	400
特別損失合計	-	400
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	30,943	△17,126
法人税、住民税及び事業税	4,646	688
法人税等調整額	5,301	3,555
法人税等合計	9,948	4,243
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	20,995	△21,370

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。